

MOBAC SHOW 2023

第28回 国際製パン製菓関連産業展

2023/2/28 TUE → 3/3 FRI
幕張メッセ
MAKUHARI MESSE / JAPAN

Machinery Materials Marketing
OF BAKERY AND CONFECTIONERY SHOW

2023モバックショウ出品のご案内

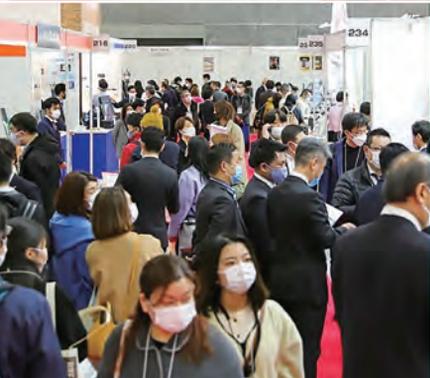
考えよう！地球の未来と食の未来！



www.mobacshow.com



日本製パン製菓機械工業会
JAPAN BAKERY AND CONFECTIONERY
MACHINERY MANUFACTURERS' ASSOCIATION



考えよう! 地球の未来

開催概要

名 称 MOBAC SHOW 2023
 2023 モバックショウ (第28回国際製パン製菓関連産業展)
 The 28th MACHINERY, MATERIALS, MARKETING
 OF BAKERY AND CONFECTIONERY SHOW

目 的 製パン製菓産業に必要なあらゆる機械・設備・器具・原材料・資材、関連情報や各種製法等の公開展示を通じ、新規需要の創出を促し、業界交流の場を提供するとともに、食品産業の発展と豊かな食文化の向上に寄与することを目的とする。

テ ー マ 考えよう! 地球の未来と食の未来!

展示方針 (1)「技術」と「素材」が創り出す「おいしさ」の実演
 (2) 未来につながる機器、原材料、マーケット情報の発信
 (3)「環境」「安全・安心」「衛生」に配慮した一連の展示
 (4) 次世代に向けた「省人化」「省力化」の提案

出品内容 (1) 製パン機械 (2) 製菓機械 (3) 食品加工機械 (4) 製粉機械 (5) 包装機械 (6) 製パン製菓器具 (7) 厨房機器 (8) 冷凍冷蔵機器 (9) 店舗設備 (10) 保管・搬送・仕分機器 (11) 原材料・食材 (12) 冷凍生地 (13) 副資材・包装資材 (14) 分析・検査機器 (15) 安全・衛生管理機材 (16) 環境対策・リサイクル関連機器 (17) エネルギー関連 (18) IoT関連及びITソリューション (19) 工場設計・設備エンジニアリング (20) 専門誌・専門図書 (21) コンサルティングサービス (22) ロボット・省人化・省力化関連機器 (23) その他の関連設備・器具

主 催 協同組合 日本製パン製菓機械工業会

会 期 2023年2月28日(火)~3月3日(金) 4日間

開場時間 午前10時~午後5時

会 場 幕張メッセ・国際展示場
 4・5・6・7・8ホール
 千葉県千葉市美浜区中瀬2-1

規 模 屋内 1,500小間

後 援 経済産業省、農林水産省、東京都、千葉県、千葉市、日本貿易振興機構(ジェトロ)、全日本パン協同組合連合会、一般社団法人日本パン工業会、パン食普及協議会、学校パン給食推進協議会、一般社団法人日本パン技術研究所、全国菓子工業組合連合会、一般社団法人日本洋菓子協会連合会、協同組合全日本洋菓子工業会、全国和菓子協会、全日本菓子協会、全国米菓工業組合、一般社団法人日本惣菜協会、一般財団法人食品産業センター、日本チョコレート・ココア協会、日本チョコレート工業協同組合、日本製餡協同組合連合会、一般社団法人日本フードサービス協会、一般社団法人日本冷凍食品協会、一般社団法人日本食肉加工協会、一般社団法人日本かまぼこ協会、日本チェーンストア協会、一般社団法人日本弁当サービス協会、一般社団法人日本スーパーマーケット協会、公益社団法人日本給食サービス協会、一般社団法人全国スーパーマーケット協会、一般社団法人日本フランチャイズチェーン協会、オール日本スーパーマーケット協会、株式会社幕張メッセ

(以上予定・順不同)

協 賛 一般社団法人日本食品機械工業会、一般社団法人日本包装機械工業会、一般社団法人日本厨房工業会、東京糧食機工業協同組合、一般社団法人中部包装食品機械工業会、製粉協会、精糖工業会、一般社団法人日本乳業協会、日本香料工業会、一般社団法人日本植物油協会、日本イースト工業会、日本マーガリン工業会、公益社団法人日本包装技術協会、日本ジャム工業組合、日本フラワーペースト工業会、アメリカ合衆国小麦連合会、カリフォルニアアレーズン協会、在日ドイツ商工会議所、フランス見本市協会、全国パン専門新聞協会

(以上予定・順不同)

来と食の未来！

MOBAC
SHOW
2023

2023 モバックショウ開催にあたって ~ご出品のご案内

このたび、2023 モバックショウ（第28回国際製パン製菓関連産業展）を2023年2月28日（火）から3月3日（金）までの4日間、幕張メッセ・国際展示場において開催することとなりました。

本展は、1971年（昭和46年）に第1回展を開催以来、関係各位の絶大なるご支援・ご協力により、最高レベルの品質と信頼性でパン業界、菓子業界に貢献できる専門見本市として着実に発展を遂げてまいりました。とりわけ近年では、“マシーン” “マテリアル” “マーケティング” という3つのMをキーワードとして出品分野の拡大を図り、機械メーカーの他にも多くの原材料メーカー、関連資材メーカーの皆様が競って出展する製パン・製菓関連の総合専門展として定着しており、国内ユーザー業界の皆様をはじめ、発展著しいアジア地区の業界関係者からも大きな注目を集めております。

第28回展となる今回は、『考えよう！地球の未来と食の未来！』をテーマに「地球環境にやさしく、持続可能な食の未来への取り組み」、「先端技術の活用による生産現場の自動化・省力化」、「安全で安心なパン・菓子・食品を提供できるシステム作り」、「HACCP義務化対応に向けた様々なソリューション」、「高付加価値な商品開発につながる各種原材料や副資材・包装資材」など、新製品・新技術を一堂に揃えた展示会を目

指しております。これによりユーザー業界の課題解決につなげ、パン・菓子業界の一層の発展に寄与してまいりたいと存じます。

また、アフターコロナへ向けた取り組みとして、「五感で感じられるリアルな実演ステージ」や「有名シェフによるデモンストレーションコーナー」、「各種コンクール・セミナー企画」などにより、会場内を大いに盛り上げていく予定です。

コロナ禍を克服しパン・菓子ユーザー業界のさらなる発展に向けて、各種提案を積極的に行ってまいりたく、より多くの機械メーカー・原材料メーカー・関連業者の方々にご出品をお願いいたしたいと存じます。

関係各位におかれましては、本展の開催趣旨に格別のご賛同を賜り、活発な商談と業界交流の場として、また、新製品・新技術などの情報発信のステージとして、本展を積極的にご活用いただきますよう、ご出品のご案内とお願いを申し上げます。

日本製パン製菓機械工業会
理事長 増田文治
2023モバックショウ実行委員会
実行委員長 若林尚人



考えよう！地球の未来と食の未来！

展示方針

- ① 「技術」と「素材」が創り出す「おいしさ」の実演
- ② 未来につながる機器、原材料、マーケット情報の発信
- ③ 「環境」「安全・安心」「衛生」に配慮した一連の展示
- ④ 次世代に向けた「省人化」「省力化」の提案

3つのM

Machine

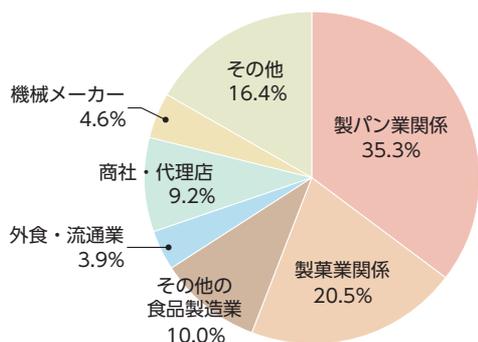
Ma

出品のメリット

過去27回の開催実績を有し、製パン製菓産業に必要なあらゆる機械・設備・器具、原材料・資材、情報等が一堂に公開展示されるアジア唯一のビジネスショーとして、国内外から高い評価を受けています。

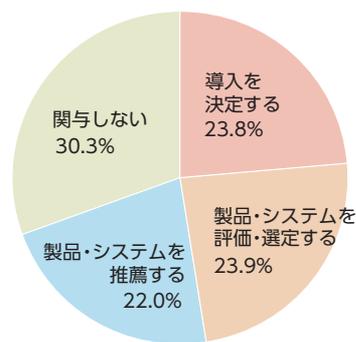
1 ユーザー層中心の質の高い来場動員を実現

製パン製菓業関係者が半数以上を占め、その他の食品製造業者、外食・流通業者を加えると約7割がユーザー層となり、トレードショーにふさわしい来場動員を実現し、出品者をバックアップします。(前回東京開催実績)



2 製品導入決定権のある方が多数来場

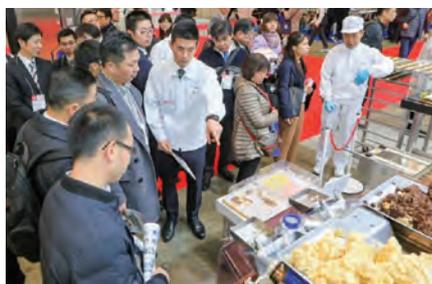
「製品導入の決定権がある」と答えた方が23.8%、「製品・システムを評価・選定する」および「製品・システムを推薦する」と答えた方を合わせると、約7割の来場者が製品導入の決定に関わっています。(前回東京開催実績)



3 五感を刺激する多彩な実演ステージ

見て、聴いて、触れて、味わうリアルの実演が話題になっています。モバックショーでは、万全なサポート体制で出品者の皆様が実演しやすい環境を整えています。

モバックショーには、**実演しやすい環境が整っています。**



出品対象

がキーワード

Marketing Materials

- 製パン機械 ● 製菓機械 ● 食品加工機械 ● 製粉機械 ● 包装機械
- 製パン製菓器具 ● 厨房機器 ● 冷凍冷蔵機器 ● 店舗設備
- 保管・搬送・仕分機器 ● 原材料・食材 ● 冷凍生地
- 副資材・包装資材 ● 分析・検査機器 ● 安全・衛生管理機材
- 環境対策・リサイクル関連機器 ● エネルギー関連
- IoT関連及びITソリューション ● 工場設計・設備エンジニアリング
- 専門誌・専門図書 ● コンサルティングサービス
- ロボット・省人化・省力化関連機器 ● その他の関連設備・器具

4 パン・菓子業界の一大イベント

業界交流促進



モバックショウ開催の機会を捉え、全国ユーザー団体や海外関連団体の会議や交流会が会場近辺で開催されます。

- 全国菓子工業組合連合会 青年部 全国大会
- 日本パン工業会 定例会
- 全日本パン協同組合 連合会 役員会
- 全青連役員会

5 ユーザー向け中心の実効性の高いプロモーション活動を実施

広報・観客動員計画

- モバックショウ公式サイトによる来場誘致
- メールマガジン配信
- プレスリリース配信サービス活用による来場誘致
- 各種SNS投稿による来場誘致
- 製パン製菓業界紙・誌への広告とパブリシティー
- 食品・外食関連業界紙・誌への広告とパブリシティー
- 一般紙、産業総合専門誌への広告及び記事掲載
- 国内ユーザー団体への観客動員要請
- 後援・協賛団体への観客動員要請
- 全国主要ディーラー・食品関連企業へのPR
- 関連展示会（国内・海外）へのPRブース出展
- プレス発表会の実施
- 在日公館、ジェットロ、航空・旅行会社へのPR
- 海外ユーザー団体等への観客動員要請

6 ユーザー業界参加の多彩なイベント・併催行事が話題

イベント・併催行事(今回の予定)

見て楽しく、触れて・聞いて学べる実感・体験型のイベントが話題になっています。実演を伴うイベントとして、今回は世界25か国のパン職人によるコンクール「モンドリアル・デュ・パン」の上位チームによる、国際コンクール「ベスト・オブ・モンドリアル」を日本で初めて開催いたします。また、モバックセミナーは、食の安全・衛生に関すること、最新の技術動向、トレンド情報が満載のステージです。これらの併催行事に毎回多数の来場者が参加し、会場内は熱気にあふれています。

- グープ・デュ・モンド (ベーカリー・ワールドカップ)
- ベーカリー・ジャパンカップ
- ベスト・オブ・モンドリアル
- 和菓子イベント
- 洋菓子イベント
- モバックセミナー



出品要領

- 出品申込に際しては、「出品規定（一般事項）」にご同意頂いたうえ、下記要領にてお申し込みください。
- 本展示会では、出品申込書と申込金を主催者が受領してはじめて正式の出品申込となります。

1. 出品料

屋内1小間 8.82㎡ (2.97m×2.97m)
一般 290,000円+税10% (税込319,000円)
 正会員 210,000円+税10% (税込231,000円)
 賛助会員 250,000円+税10% (税込275,000円)
 書籍 90,000円+税10% (税込99,000円)

2. 申込要領

- ① 申込受付期間
2022年2月1日(火)～8月31日(水)
但し、満小間になった場合は、期間内であっても締め切りします。
- ② 申込方法
「出品申込書」に必要事項をご記入のうえ、2023モバックショウ事務局宛にお送りください。
また、1小間につき50,000円の出品申込金を同時にお支払いください。
(銀行振込の場合は原則として領収書は発行致しません。)

③ 出品申込書送付先及び問合せ先

2023モバックショウ事務局
〒104-0061
東京都中央区銀座1-18-2 タツビル
日本製パン製菓機械工業会
担当 黒木、有賀、神戸、鈴木(和)
電話 03(6673)4333(代)
FAX 03(6673)4568

④ 出品料/出品申込金の送金先

三菱UFJ銀行 京橋支店
普通預金 □座番号 0130339
□座名義 協同組合日本製パン製菓機械工業会

3. 出品契約

正式な出品契約は、2022年10月中に行います。
主催者は、割当て小間を示した出品契約書2通を送付します。出品申込者は、この契約書に捺印し、定められた期間内に提出してください。同時に、出品料残額(支払い済み出品申込金を除いた金額)をお支払いください。(送金先2.-④参照)手形はお受けできませんのでご了承ください。

4. 出品者説明会及び諸手続き

2022年11月上旬頃に出品者説明会の開催を予定しています。
「出品手引書・手続書類綴」は、この時に配布致します。

基礎小間及び小間装飾

① 小間のタイプ及び小間の寸法

小間のタイプはシングル小間、ダブル小間、ブロック小間の3タイプです。
各タイプの小間の寸法は以下の通りです。

② 基礎小間

基礎小間はシステムパネルで設置します。
基礎小間には、壁面システムパネル、小間番号板が含まれます。
パラペット、社名板は有料となっておりますので、必要な出品者は別途お申し込ください。

③ 既成レンタル小間装飾

装飾費用の低減を図りたい場合は、「既成レンタル小間装飾(パッケージブース)」をご利用ください。※次頁参照
詳細はあらためてご案内致します。

④ 装飾物の高さ制限

装飾物の高さは、シングル小間では2.7mが限度となります。2.7m超の構造物を計画している場合は、ダブル小間、ブロック小間でお申し込みください。(但し、構造物が小間の4辺から0.99mセットバックしていることが条件です。)

小間のタイプ

〈シングル小間〉

タイプ	面積(㎡)	奥行(m)	間口(m)
S-1	8.82	2.97	2.97
S-2	17.64	2.97	5.94
S-3	26.46	2.97	8.91
S-4	35.28	2.97	11.88
S-5	44.10	2.97	14.85
S-6	52.92	2.97	17.82
S-7	61.74	2.97	20.79
S-8	70.56	2.97	23.76

〈ダブル小間〉

タイプ	面積(㎡)	奥行(m)	間口(m)
D-4	35.28	5.94	5.94
D-6	52.92	5.94	8.91
D-8	70.56	5.94	11.88
D-10	88.20	5.94	14.85
D-12	105.84	5.94	17.82
D-14	123.48	5.94	20.79
D-16	141.12	5.94	23.76

〈ブロック小間〉一辺の長さは15.38m

タイプ	面積(㎡)	奥行(m)	間口(m)
B-20	176.40	15.38	11.47
B-22	194.04	15.38	12.62
B-24	211.68	15.38	13.77
B-25	220.50	15.38	14.34
B-26	229.32	15.38	14.92
B-28	246.96	15.38	16.06
B-30	264.60	15.38	17.21
B-32	282.24	15.38	18.36
B-34	299.88	15.38	19.50
B-35	308.70	15.38	20.08
B-36	317.52	15.38	20.65
B-38	335.16	15.38	21.80
B-40	352.80	15.38	22.94
B-45	396.90	15.38	25.81
B-50	441.00	15.38	28.68

※ブロック小間は、20小間以上の申込みとなります。
上記は寸法例であり、50小間以上の申込みも可能です。
※40小間以上お申込の場合は、小間形状について、別途ご相談に応じます。

割引制度

★ 早期割引制度

2022年6月30日(木)までに出品申込金を納入された場合、出品契約時に既納申し込み金総額の5%を割引かせていただきます。(正会員は除く)

★ 連続出品割引制度

2021モバックショウに出品した企業が、2023モバックショウに連続出品していただいた場合、1小間に付き5,000円を割引いたします。但し、本割引は、一般料金での申し込みに限り適用いたしません。(正会員、賛助会員、協賛団体会員、書籍ブース出品者は除く)

開催中止の場合の
出品料について

主催者が開催中止を決定した場合の出品料の取扱は、下記の通りとなります。

- 出品申込から2022年10月31日まで：既納分を全額返金
- 2022年11月1日以降：必要経費を差し引いたうえ差額を返金

工事及び電気使用料

①電気

ア. 電力幹線工事

主催者は、出品者の申込により1小間当たり1.3kW（100V、200Vの合計容量）までの電力幹線工事を施工します。開閉器は電圧別に1カ所設置します。

イ. 超過幹線工事（有料）

基本供給電力の範囲を超えて電力を必要とする場合は、その超過分に対する幹線工事費は、出品者の負担となります。

※6,000円/kW（税抜）+消費税（10%）

ウ. 電気使用料金（有料）

小間内で使用する電気使用料金は、全て出品者の負担となります。

※申込容量（kW）×60円×8時間×4日間+消費税（10%）

=電気使用料

※電気使用料金は、2021年11月現在のものです。今後の動向によっては値上げをさせて頂く場合がありますので、あらかじめご承知おきください。

エ. 支払い方法

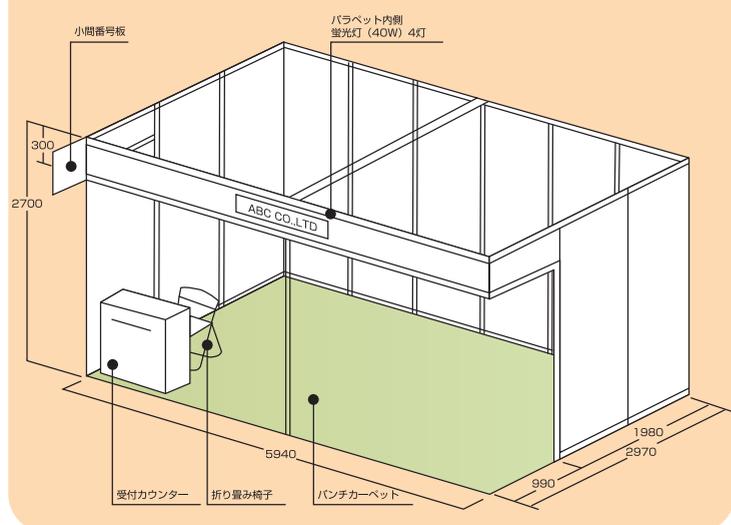
超過幹線工事費及び電気使用料金については、会期中に請求書を発行しますので、会期終了までに主催者にお支払いください。

②ガス、給排水、エア－工事

- ・熱源としてガスを使用する場合は、都市ガスのみ使用が可能です。ガス使用に必要な一切の工事費及びガス使用料は、出品者の負担となります。
- ・給排水ならびにエア－供給に必要な一切の工事費及び水道使用料等は、出品者の負担となります。

既成レンタル小間装飾

※シングル2小間の例



例

1. カーペット	17.64m ²	5. パラペット	一式
2. 受付カウンター	1台	6. 蛍光灯 (40W)	4灯
3. 貴名受け	1個	7. 社名板	1枚
4. パイプ椅子	1脚	8. 取付、撤去費	

工事費合計（消費税別）

¥102,000

隣接小間への配慮

出品者の皆様がお互いに最大限の展示効果を挙げられるよう、自社の展示、装飾、実演にあたっては、他の出品者へのご配慮をお願いいたします。

また、展示・装飾・実演に関しては、安全保持のため主催者の指示に従ってください。

①実演、試食

- ・自己の小間内でのみ出品物の実演及び物品の配布を行うことができます。
- ・会場内において食品を試食に供する場合は、保健所へ事前の届出が必要となります。
- ・原則として、実演で生じた食品等を販売することはできません。

②デモンストレーション、製品説明等

ア. 出品者間の公平を期するため、デモンストレーション、製品説明等を行う際にマイク、AV機器（ビデオ・DVD等）を使用される出品者は、音量には十分注意して行ってください。

（小間境界より前面計測値60ホーン以下）

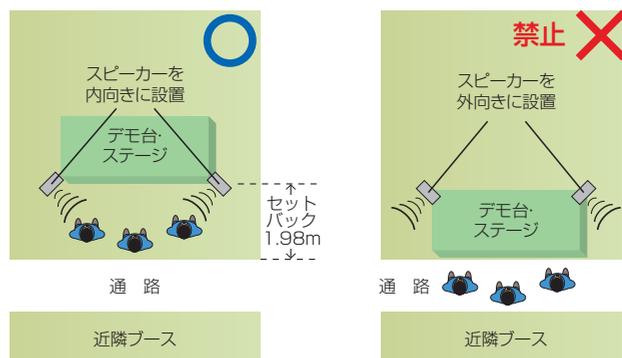
イ. マイク、AV機器を使用する際に、スピーカー等の拡声装置を自己の小間から外向きに設置することは禁止します。

ウ. 自己の小間内にデモ台・ステージ等を設置し、マイク・スピーカー等を使用してデモンストレーションや商品説明を行う場合は、観客が通路に滞留しないよう、小間内に充分な観客収容スペースを確保できる小間設計を行ってください。

※小間境界面から1.98m以上セットバックを条件とします。

※デモ台・ステージを設置する場合は、ダブル小間・ブロック小間で申込みください。

デモ台・ステージの設置方法



その他

駐車場利用について

3小間以上の出品者に限り、出品者専用駐車場（会期中）を1社1台割り当てます。それ以外の出品者または複数台駐車される出品者は、“メッセ駐車場（有料）”をご利用ください。

2023モバックショーでは、新型コロナウイルス感染症拡大防止を徹底します。

- ・全参加者へのマスク着用を徹底
- ・全参加者への体温測定を実施
- ・すべての出入口に消毒液を設置
- ・会場内の換気、対人距離確保の実施
- ・来場事前登録による来場者混雑防止対策の実施

出品規定（一般事項）

1. 出品規定の遵守

出品者は、本出品規定ならびに出品者説明会で配布する「出品手引書」各規定を遵守してください。これらに違反していると主催者が判断した時、主催者は出品申込を拒絶または取消することがあります。

2. 出品対象

出品対象は、本展示会の目的・趣旨に合致するもののみとさせていただきます。

中古品・模倣品の出品は固くお断り致します。

主催者は、出品受付に際し、出品者及び出品物に対して審査を行い、その受付の保留・拒絶を行うことがあります。

3. 小間割り

小間割りは、小間の配置・形状に基づき、所定の手続きに従い、主催者が決定いたします。

主催者は、出品申込者より出された希望事項に拘束されません。

4. 共同出品の取扱い

2社以上で共同出品する場合、主催者が発行する資料（例：出品者名簿、ガイドブック等）への会社名の記載、各種印刷物の配布、展示会場での会社名表示等は、主催者との出品契約を締結した会社に限らせて頂きます。

5. 小間使用の権利

出品申込者は、出品契約の締結及び出品料全額の納入をもって、小間使用の権利を取得します。

但し、出品者は、割り当てられた小間の一部または全部を、有償・無償に関わらず、第三者に譲渡または貸与することはできません。

6. 出品申込の取消し及び出品契約の解約

出品者が、出品申込の取消し及び出品契約の解除をすることは、原則としてできません。

止むを得ない理由でこれらを行うときは、必ず文書で申し出てください。

出品者が、出品申込の取消または出品契約を解約した場合は、既納の申込金または出品料はお返し致しませんので予めご了承ください。

7. 会期の変更

止むを得ない事情が生じた場合、会期が変更される場合があります。

この変更によって生じた損害について、主催者は保証の責を負いません。

8. 開催の中止

天災その他、不可抗力または止むを得ない理由により開催が中止されることがあります。

この場合、出品者の損害については、主催者は原則として賠償の責を負いません。

9. 関連法規の遵守及び対応

本展示会への出品にあたっては、次に挙げる関連法規を遵守し、充分な対応を行ってください。

①事故防止

PL法、労働安全衛生法、消防法、火災予防条例、電気安全規則、食品衛生法等

②知的所有権対応

特許法、実用新案法、意匠法、商標法、著作権法等

③その他

個人情報保護法等

10. 工業所有権出願の発明考案に関わる出品

工業所有権出願の発明考案に関係する出品物は、特許法第30条3項（発明の新規性喪失の例外規定）の適用が受けられます。当規定の適用を受けようとする場合は、出品者自身が書面を作成し、特許庁に提出してください。

11. 外国貨物の展示

外国貨物を日本国内で売却・譲渡する予定が有る場合には、あらかじめ通常の輸入通関を行ったうえで展示してください。

出品社一覧 (50音順) 過去3回の出品社

アーラフーズ (ジャパン)	カルピジャーニ・ジャパン(株)	(株)新日本コンペアー	日清製粉(株)	フルタ製菓(株)
(株)愛工舎製作所	(株)川島製作所	スガツネ工業(株)	(株)日新電子工業	(株)ブレイン
愛知電熱(株)	(株)関西オイルシールセンター	(株)スギノマシン	(株)ニッパン	Premium Vegetable oils SDN.BHD
IBIE	(株)関西西久保長	スズキ機工(株)	日本NCRサービス(株)	プレミオキャロルコーヒー(株)
アイブランド(株)	関東混合機工業(株)	STRONG ULTRASONIC	(一社)日本オリジナール・	(株)兵神装備
赤門ワイレックス(株)	(株)キーエンス	MACHINERY CO., LTD.	ピンサ・ロマーナ協会	(株)ペーカー・エンジニアリング
(株)朝日化成	(株)北越	精電舎電子工業(株)	日本工業刃物(株)	(株)ペーカース・プロダクション
旭化成ホームプロダクツ(株)	木田製粉(株)	(株)西友エンジニアリング	(株)日本サイト	Bakery China
(株)旭創業	(株)北原産業	CEPI SPA	日本細菌検査(株)	(株)ペーネデザイン
アサヒ装設(株)	(株)北村製作所	全国菓子工業組合連合会	(一社)日本食品機械工業会	(株)保坂製作所
(株)旭プレジジョン	キッコーマン食品(株)	鮮食(株)	日本食糧新聞社 (ファベックス)	星野物産(株)
(株)旭屋出版	(株)木原製作所	(株)全日本洋菓子工業会	日本製パン製業機械工業会	(株)堀九来堂
(株)麻布精機製作所	キムラシール(株)	(株)ソーキナカタ	(株)日本動熱機製作所	(株)前田商店
アサミ(株)	(株)久電舎	(株)ソディック	日本ニードー(株)	正城機械(株)
アゼット(株)	共立プラント工業(株)	そらみつ(株)	(一社)日本パン技術研究所	マサミ産業(株)
(株)アタゴ	(株)共和	ソントンホールディングス(株)	(一社)日本包装機械工業会	(株)マスターマインド
(株)アニー	キョーワクリーン(株)	Daigas エナジー(株)	(公社)日本包装技術協会	(株)マスタックマシナリー
アネスト岩田(株)	(株)キラックス	(株)タイキ	(株)日本包装リース	増田煉瓦(株)
アメリカ家禽鶏卵輸出協会	クイック・ロック・ジャパン(株)	(株)大黒工業	日本ポリスター(株)	(株)松原製酪所
American Pan	(株)榎澤電機製作所	(株)大進	(株)ニュートラル	(株)松山丸三
荒川商事(株)	(株)久保商会	ダイヤ冷ケース(株)	(株)ニューマインド	(株)マトファー・ジャパン
(株)アラハタフードマシン	(株)熊本製粉	大和貿易(株)	(株)ネクスト	MA PASSION NORMANDIE JAPON (株)
アラム(株)	Creative Foodservice &	大和冷機工業(株)	(株)ネクストスケープ	(株)丸善
(株)アリガ	Packaging Ltd.	(株)高砂	(株)ノヴァ	(株)マルゼンブック
アリサン(有)	グリコ栄養食品(株)	多賀電気(株)	(株)パーカーコーポレーション	(株)丸菱
(有)アワジヤ菓機	(株)クレオ	タカナシ販売(株)	(株)パーテック	(株)マルヤ
(株)飯田製作所	(株)グローアップ	滝川工業(株)	(株)バイオニア風力機	(有)マンテック充填工業
イーデーエム(株)	(株)KKI	竹本油脂(株)	ハイテック(株)	(株)三コヤ香商
石井物産(株)	(株)健康マルシェ	(株)太幸	海泰科(青島)食品設備有限公司	御崎コンペヤー(株)
(株)イシハラ	(有)光陽機械製作所	(株)多田フィロソフィ	HITEC FOOD EQUIPMENT CO.,LTD.	三鈴工機(株)
伊藤忠食糧(株)	(株)コウリョー	(株)館山	ハクラ精機(株)	(株)三菱ケミカルフーズ
iba	(株)幸和工業	(株)田中衡機工業所	パケ ドゥ ソレイユ	三菱商事ライフサイエンス(株)
茨木精機(株)	古賀産業(株)	(株)田中食品興業所	(株)橋田機工	三ツ星ベルト(株)
(株)ウインターハルター・ジャパン	コヒラ工業(株)	(株)たにぐち	パシフィック洋行(株)	(株)武蔵エンジニアリング
(株)UNO	(株)コトブキペーキングマシン	タニコー(株)	PANEM INTERNATIONAL SAS	(有)明起商会
(株)うめはら	(株)コバード	谷沢染機工業(株)	(株)原製菓機	(株)明和エンジニアーズ
エア・ウォーター・	(株)小林製作所	(株)ちどり産業	ハンター製菓(株)	MECS TECH CO.,LTD
プラントエンジニアリング(株)	(株)ごはん	(一社)中部包装食品機械工業会	(株)バンニューズ社	(株)毛キ製作所
エスケーミキサー(株)	コマジャパン(株)	(株)チョコヴィック・ジャパン	バンノー(株)	森川フードマシン(株)
(株)エヌワイビー	(有)小松鋳型製作所	チョコマジャパン(株)	ピーロート・ジャパン(株)	(株)モレック
エパリッチエンタープライズ(有)	(株)サーフテクノロジー	CHOCOLATE WORLD	(株)ヒガシモトキカイ	(株)ヤナギヤ
(株)エフ・エム・アイ	(株)坂井印刷所	千代田金属工業(株)	ピクトリノックスジャパン(株)	山一(株)
江別製粉(株)	サマック(株)	ツカサ工業(株)	飛騨高山ファクトリー(有)	山崎製パン(株)
Evolis	(株)三協	月島食品工業(株)	(株)日の本穀粉	山眞産業(株)花びら舎
(株)エムラ販売	(株)三共技研	(株)ツジ・キカイ	(株)平野紙器	(株)山田製作所
(株)エンジェルジャパン	(株)サンクラフト	T&M テクノロジー(株)	(株)平野製作所	(株)ヤマニパッケージ
(株)遠藤孝商店	三幸機械(株)	(有)テックヨロス	(株)ファインテック	(株)山本忠信商店
大紀産業(株)	三能ジャパン食品器具(株)	デュボン・ニュートリション&ヘルス	福島工業(株)	ユニテール(株)
(有)大久保商会	(株)三和産業	(株)寺岡精工	福山製菓機械(株)	ユニテックフーズ(株)
(有)大倉菓機	幸せお菓子プロジェクト	(株)デリコジャパン	(株)フジ	Unifiller Japan (株)
大阪自動機(株)	CSM ベーカリーソリューションズ	テンチ産業(株)	(株)フジイ機械製作所	横浜油脂工業(株)
大阪ポリエチレン販売(株)	(株)ジーエス環境システム	(株)電費半分	(株)フジキカイ	横山香料(株)
オープンバーム香和	(株)シートス	東海リザーブ(株)	(株)フジサワ・マルゼン	(株)よし与工房
大森機械工業(株)	シービーエム(株)	(株)東京自動機械製作所	富士島工機(株)	(株)ヨロツ
(株)オオヤマフーズマシナリー	シール工業(株)	東京食品機械(株)	(株)不二商会	理研ビタミン(株)
お菓子のミカタ	JAC	(株)トーダイ	不二精機(株)	リヨーククショウジ(株)
(株)オカダ	(株)J・I・B	戸倉商事(株)	不二WPC	ルーツ貿易(株)
岡野食品産業(株)	(株)J-オイルミルズ	(株)ドミニクドゥーセの店	富士フレイバー(株)	レオン自動機(株)
奥野製菓工業(株)	(株)七洋製作所	友栄食品興業(株)	(株)フジマック	レッテンマイヤージャパン(株)
オサ機械(株)	(株)品川工業所	(株)鳥越製粉	(株)フタバ	レマコム(株)
(株)オシキリ	(株)柴田書店	中井機械工業(株)	PETIT BONHEUR DE NORMANDIE	(株)ローリング
小田象製粉(株)	(株)シモジマ	中澤函(株)	プチリュバン	(株)ワールド精機
オツカ工業(株)	(株)ジャーマンサービス	ナガセケムテックス(株)	(株)フライテクノ	ワインハウスゲアハルト(株)
(株)オッティ貿易	JAX	(株)浪華電熱機製作所	ブラザー工業(株)	若林工業(株)
(株)カジワラ	(株)ジャパンシステム	日仏商事(株)	フランス見本市協会	渡邊折箱商店(株)
(株)久々堂	(株)ショウワ	(株)ニチレイバイオサイエンス	プリンス電機(株)	渡辺工業(株)
(株)鎌田機械製作所	(株)昭和産業	ニチワ電機(株)	古河工業(株)	
カリフォルニア・レーズン協会	(株)新光食品機械販売	日新化工(株)	(株)古川製作所	

開催までの総合スケジュール

2022年

2月	出品受付開始 開催記者発表会(東京)	2月1日(火) 2月8日(火)
3月	モバックショウ特別講演会(東京)	3月
6月	早期割引締切	6月30日(木)
8月	出品受付締切	8月31日(水)
9月	小間割	9月
10月	出品契約締結 (出品料支払期限)	10月
11月	出品者説明会 記者会見(東京) 来場案内等の配布	11月
12月	各種手続書類の提出期限	

2023年

1月	出品者バッチ・ 作業員バッチ等の配布
2月	25日(土)~27日(月) 搬入 28日(火)~3月3日(金) 会期 28日(火) 開会式・レセプション 3月3日(金)~4日(土) 搬出

運営組織

役員

区分	氏名	会社名	役職名
理事長	増田文治	(株)マスタックマシナリー	社長
副理事長	原田淳一	(有)光陽機械製作所	社長
副理事長	谷沢修次	谷沢菓機工業(株)	社長
専務理事	梶原秀浩	(株)カジワラ	社長
常務理事	中井節	中井機械工業(株)	社長
常務理事	小林博紀	(株)コバード	社長
常務理事	若林尚人	若林工業(株)	社長
常務理事	田中利政	三幸機械(株)	社長
常務理事	鈴木孝	(株)日本製パン製菓機械工業会	事務局長
理事	今本美智雄	(株)ベーカーズ・プロダクション	社長
理事	大城修一	(株)ワールド精機	社長
理事	山本雅弘	(株)浪華電熱機製作所	社長
理事	牛窪洋光	(株)愛工舎製作所	社長
理事	青木康哲	日本工業刃物(株)	社長
理事	北村和大	(株)北村製作所	社長
理事	山田太	(株)山田製作所	社長
理事	宮川恵之	(株)三協	社長
理事	筒井ミシェル	日仏商事(株)	社長
理事	飯田勉	(株)飯田製作所	社長
理事	奥野真一	(株)コトキベーキングマシン	社長
理事	林純一	関東混合機工業(株)	社長
理事	久川孝之	(株)型久堂	社長
理事	竹島実	レオン自動機(株)	常務執行役員
監事	大山裕	(株)オオヤマフーズマシナリー	社長
監事	菅泰孝	茨木精機(株)	社長

2023モバックショウ実行委員会

区分	氏名	会社名	役職名
実行委員長	若林尚人	若林工業(株)	社長
実行副委員長	田中利政	三幸機械(株)	社長
実行副委員長	小林博紀	(株)コバード	社長
出品委員長	青木康哲	日本工業刃物(株)	社長
出品副委員長	丸田光浩	正城機械(株)	専務
出品副委員長	谷沢俊哉	谷沢菓機工業(株)	取締役
出品副委員長	北村和大	(株)北村製作所	社長
会場委員長	飯田勉	(株)飯田製作所	社長
会場副委員長	白根慶治	ルーツ貿易(株)	社長
会場副委員長	鶴岡良太	(株)鎌田機械製作所	常務
会場副委員長	山田太	(株)山田製作所	社長
広報委員長	宮川恵之	(株)三協	社長
広報副委員長	林純一	関東混合機工業(株)	社長
広報副委員長	吉田和宏	千代田金属工業(株)	社長
広報副委員長	奥野真一	(株)コトキベーキングマシン	社長
渉外委員長	牛窪洋光	(株)愛工舎製作所	社長
渉外副委員長	竹島実	レオン自動機(株)	常務執行役員
渉外副委員長	太田和隆	ダイヤ冷ケース(株)	社長
渉外副委員長	筒井ミシェル	日仏商事(株)	社長
事務局長	鈴木孝	日本製パン製菓機械工業会	常務理事
事務局次長	黒木利明	日本製パン製菓機械工業会	
事務局課長	有賀義訓	日本製パン製菓機械工業会	
事務局主任	神戸光高	日本製パン製菓機械工業会	
事務局	鈴木和子	日本製パン製菓機械工業会	



日本製パン製菓機械工業会 2023モバックショウ事務局
〒104-0061 東京都中央区銀座一丁目18番2号 タツビル5階
TEL.03-6673-4333 FAX.03-6673-4568
URL:<http://www.jbcm.or.jp> <https://www.mobacshow.com> E-mail:mobac@jbcm.or.jp